

研究委員会の設置趣旨と研究の内容

東 貞成

1. 設置趣旨

近年観測されている大加速度記録の要因解明には、表層地盤による地震動増幅特性や非線形地盤応答の評価が重要である。本研究委員会では、既往研究の整理や現地観測等に基づき、様々な手法による表層地質・地盤のモデル化手法を比較検討して実用的な表層地盤のモデル化手法の提案を目指す。

2. 設置期間

2014年04月01日～2017年03月31日

3. 活動内容

- ・表層地盤のモデル化方法に関する既往研究の整理
- ・強震観測点の表層地盤モデルとサイト特性に関する検討
- ・地震応答特性に係る表層・地質の実用的なモデル化方法の提案
(講習会、ワークショップ、地震工学論文特集号)
- ・学会におけるセッション企画
- ・2016年5th IASPEI/IAEE International Symposium of the Effects of Surface Geology on Seismic Motion (ESG 国際シンポジウム@台湾)における日本のESG研究の成果発信